

# お知らせ

## ◆遠藤周作の新刊本

日経文芸文庫創刊  
『落第坊主の履歴書』 遠藤周作

定価 550円＋税  
内容 テストは0点。女子にはフ  
れ、神父にも叱られ、授業は  
サボって映画三昧。周囲も心  
配するほど落ちこぼれたつた  
少年は、やがて皆に愛される  
作家となった。生い立ちから

「作家・遠藤周作」の誕生、  
仲間との交流まで、狐狸庵先  
生が語る、「涙と笑いの」私の  
履歴書。解説・加藤宗哉。

2013年10月23日発売。

## ◆新年会のお知らせ

恒例となりました新年の懇親会を、  
左記のように開催します。着席形式の  
バイキング・パーティーで、楽しい懇  
談と食事のひと時です。

年内にあらためて往復ハガキでご案  
内しますが、これまでに参加されたこ  
とのない方も、おひとりでご参加の方  
も、どうぞお気軽にお出かけ下さい。

日時 2014年2月1日(土)

12時30分～14時30分

会場 東京・一ツ橋「如水会館」

会費 7000円

## ◆遠藤文学講座のお知らせ

『『死海のほとり』を読む』

日時 12月14日、1月11日、2月8

日、3月15日(土)  
15時20分～16時50分  
(日程は変更する場合があります)  
ますので、風編集室のHPで  
ご確認ください)

場所 幼きイエス会

〒03-3261-0825

(四谷駅麹町口前)

講師 山根道公

受講料 1回2000円(学生半額)

申込み 風編集室

TEL 086-227-5665

kazehensyuusitu@gmail.com

内容 『死海のほとり』を聖書の関  
連箇所等にも触れながら克明  
に読み解き、日本人に実感の  
できるイエス像を探ります。

## ◆遠藤周作『イエスの生涯』『死海のほとり』の舞台を訪ねて―野の花の美しいガリラヤの春に行く―聖地の旅―のお知らせ

日時 2月23日～3月3日(9日間)

講師 山根道公(同行解説)

問合せ 詳細は風編集室まで

TEL 086-227-5665

kazehensyuusitu@gmail.com

内容 エルサレム、死海のほとりの  
荒野、野の花の咲き乱れるガ  
リラヤなど、『死海のほとり』

『イエスの生涯』の舞台を訪  
ね、それらの作品や聖書をそ  
の場所で朗読、解説し、遠藤  
氏がそこで何を実感したか、  
追体験することを目的とした  
聖地の旅です。

## ◆遠藤周作『侍』展 関連イベント

講演 ヴァン・C・ゲッセル

日時 3月8日(土) 14時から

会場 町田市民文学館2階大会議室

定員 周作クラブ用20名(応募多数  
の場合は抽選)。別途一般枠  
あり

申込み

氏名・住所・電話番号を明記  
し、FAXで町田市民文学館

『侍』講演会係まで。申込期  
間は2月1日～15日。結果は  
申込終了後1週間以内にハガ  
キで送付。

TEL 042-739-3421

※なお、2月上旬には、斎藤由香さん  
による講演会も予定されています。

## ●『侍』朗読とお話 石坂浩二

(聞き手・加藤宗哉)

日時 3月14日(金) 18時から

会場 町田市民フォーラム

3階ホール

定員 180名(応募多数の場合は  
抽選)

申込み 往復ハガキに氏名・住所・電  
話番号を明記し、町田市民文  
学館「石坂浩二朗読会」係ま  
で。1人1枚。締切は2月24  
日(必着)。

TEL 042-739-3420

## ●音楽座ミュージカル『泣かないで』

稽古場見学ツアー(町田)

日時 3月2日(日) 13～15時

定員 30名(申込順)

申込み 2月1日(土)の9時から町  
田市民文学館カウンターか電  
話。

TEL 042-739-3420

## ◆編集後記

▼一日中雲を見ていたことがありますか。  
雲は様ざまに形を変えながら流れていて、  
とどまることを知りません。病棟の窓から  
見ているせいでしょうか、魔物か怪獣に見  
えることが多いのですが、時に少女の顔を  
見せたりします。「乙女の姿しほしとどめむ」  
と詠んだ千年前の歌人僧正遍昭の感性に、  
今更ながら感心します。

▼樹木や鳥が見えるといいますが、病室  
が9階なので、ベッドから見えるのは空ばか  
り。鳥といえば時折ガラスが、「二羽飛ぶだ  
けです。とはいえ、無機の空間に命がよぎ  
ると、ホッとします。

▼耐えがたい頭痛に救急車で病院に運ばれ  
たのは、9月28日のことでした。10月4日  
からは東京女子医大病院に移り、10月21日  
になって、やっと頭痛の原因が確定しまし  
た。頸椎基部の骨癌です。20回の放射線照  
射の後に手術して、損なわれた頸骨を器具  
で補い、今年中には退院できる予定です。

▼そんな訳で本号の編集は、金子コウさん  
と加藤・宮辺両幹事におまかせしました。  
深謝。次号はきつと復帰します。(剣)

## 「周作クラブ」第53号

2013年11月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 金子 コウ

■この号の編集者

岡田厚美、一田佳希、大原雄、  
近藤恭弘、高木香織、太原正裕(印)

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17  
加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL 03-3421-1521

FAX 03-3421-1521

●次回の会報発行は2月の予定です。